

令和 4 年度市電の運賃等に関するアンケート調査結果の概要

1. 調査目的

熊本市電の運賃等に関する市民ニーズを把握するもの。

2. 調査方法

日 時：令和 4 年 9 月 26 日（月）から 10 月 14 日（金）まで

対 象：市電利用の有無・居住地を問わず幅広い年齢層の方

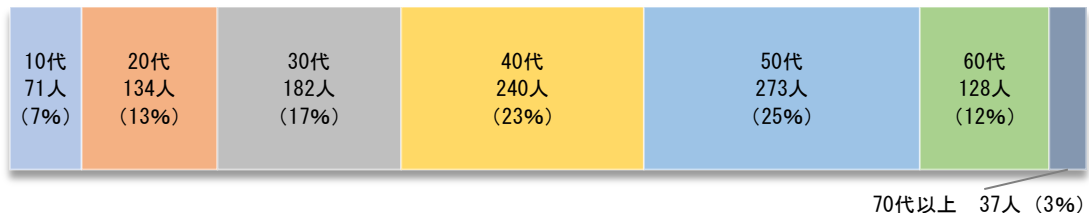
方 法：WEB アンケート、車内・営業所窓口でのアンケート用紙配布

回収数：1,065 件（うち WEB 回答 979 件、紙回答 86 件）

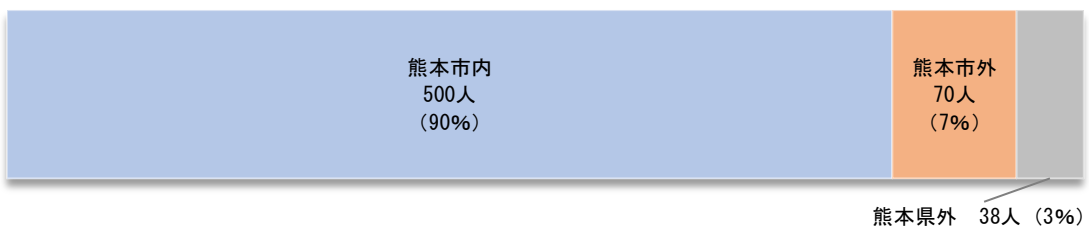
3. 回答者属性

- ▶ 年代は、30 代から 50 代を中心にある程度満遍なく回答頂いている
- ▶ 住まいは、熊本市内の方が約 9 割
- ▶ 市電の利用頻度は、年数回が約 4 割、月数回が約 2.5 割、週 5 日以上が約 2 割

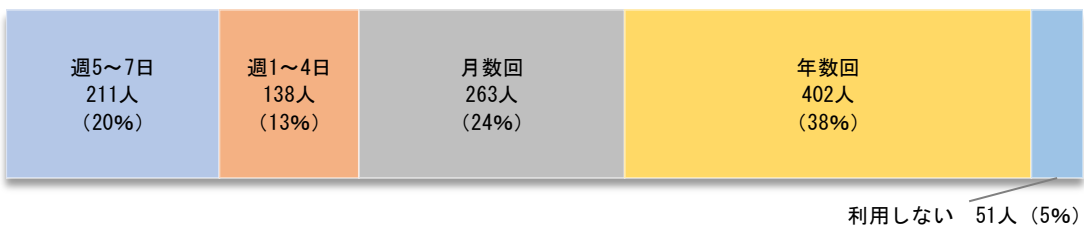
(1) 年代（N=1,065）



(2) 住まい（N=1,065）



(3) 市電の利用頻度（N=1,065）



4. 調査結果

- ▶ 180 円への運賃値上げは、値上げをやむを得ないと感じる方が 8 割以上
- ▶ 将来的な運賃値上げの許容額は、200 円を許容できる方が約 8 割
- ▶ 利用しやすい運賃制度は、均一制が約 8 割、対距離制が約 2 割
- ▶ 利用しやすい運賃の支払い方法は、交通系 IC が約 7 割、QR コードが約 1 割
- ▶ 利用しやすい乗降方法は、後ろ乗りが約 5 割、前乗りが約 2 割

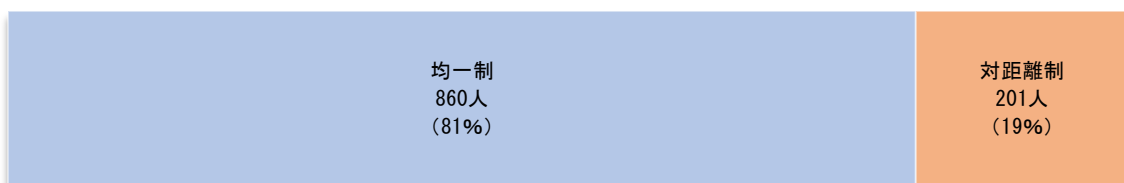
(1) 180 円への運賃値上げについて (N=1,063)



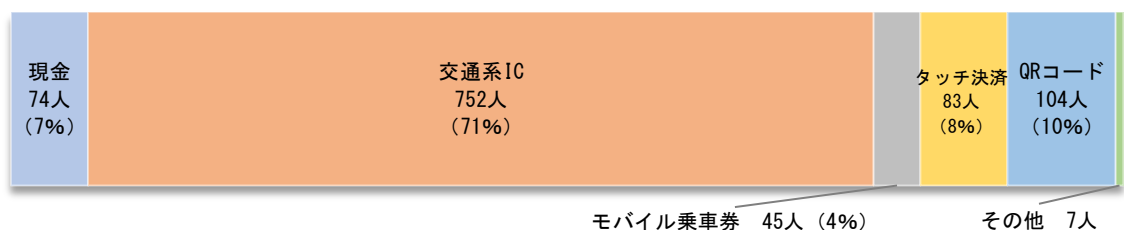
(2) 将来的な運賃値上げの許容額 (N=1,062)



(3) 利用しやすい運賃制度 (N=1,061)

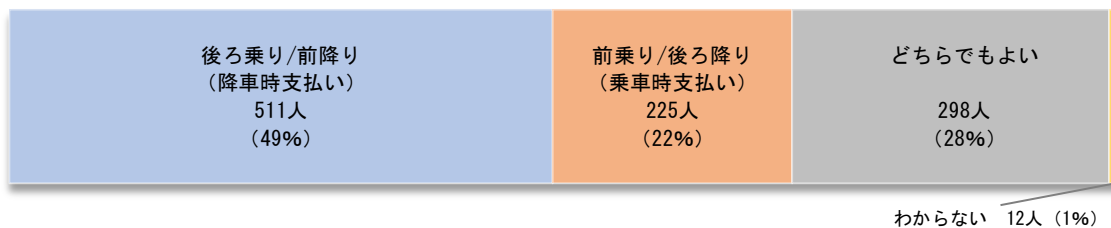


(4) 利用しやすい運賃の支払い方法 (N=1,065)

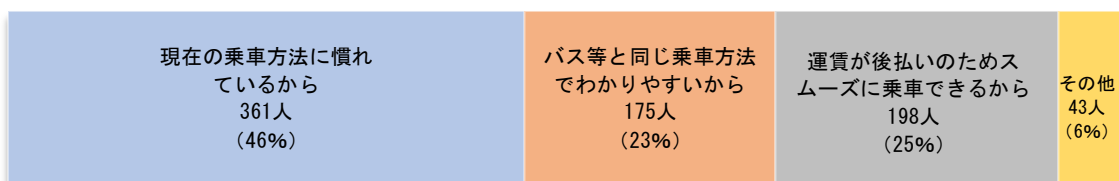


※QRコード決済は現在未導入

(5) 利用しやすい乗降方法 (N=1,046)



(6) 後ろ乗り (降車時運賃支払い) がいいと思う理由 (N=777)



(7) 前乗り (乗車時運賃支払い) がいいと思う理由 (N=361)

